

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大型機組立 (G17)	階数	地上2F
建設地	兵庫県明石市二見町福里字西之山	構造	S造
用途地域	工業地域、一種住居地域	平均居住人員	20 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年9月26日
敷地面積	5,076 m ²	作成者	株式会社 山本設計
建築面積	4,396 m ²	確認日	2023年9月26日
延床面積	4,366 m ²	確認者	株式会社 山本設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.3

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>大規模工場内の一角に増築する工事であるため、周囲の道路等からは見え無いが、構内の環境に配慮した計画としている。</p> <p>工場内の調和(高さ・形状・色彩の統一)、正門からの見え方(圧迫感・威圧感を軽減する外観計画)等</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>組立室内も空調を行い、快適に作業を行える室内環境としている。</p> <p>敷地内全面禁煙であり、受動喫煙やタバコ臭の問題が無い快適な環境である。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース(休憩室)を設け、その中に自動販売機を設置し、従業員の快適性に配慮している。</p> <p>設備機器・配管配線類を極力露出で設置し、更新時等に</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>建物周囲の足元に出来る限り、緑(芝生)を植え、敷地内温熱環境の向上に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BEIが1.0以下となるよう、省エネに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>吹付現場発泡ウレタン断熱材は、ノンフロン製品を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>日影を第1種住居地域(4.0/2.5h)の規制内容で確認し、日影規制を満足する計画としている。(本敷地は、工業専用地域。)</p> <p>また、等時間の日影がほぼ敷地内で納まる計画としている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される